

災害に活かせる 情報ネットワーク

津消防タイムズ

消防部対策本部

第 5 号

発行 津市消防本部
〒514-1101
津市久居明神町 2276
編集 消防総務課
企画広報担当
TEL 059-254-0353
FAX 059-256-7755

協力 津市防火協会

火災などの
お問い合わせ
☎224-1881
救急医療案内
☎256-1199



災害に備えた情報 収集伝達訓練を実施

五月二十六日十時三十分、津気象台発表、三重県中部に「大雨・洪水警報」が発表され、中部では昼前にかけて、一時間に六十ミリ以上の激しい雨が降り、嚴重な警戒が必要であり、津市災害対策本部が設置されたという想定により、合併後の「新津市消防本部」として初めて、災害対策本部を設置する訓練を実施しました。

消防指令系・消防情報系、津市情報系の総合ネットワークを接続し情報収集、また伝達する訓練では、設置された通信機器の送信や受信を行って、通信指令センターの災害指令画面を七インチラディスプレイに映し、消防情報系ネットワークにより被害状況を受信したり、津市のネットワークを使って、三重県内の最新の雨量や河川情報など、大型スクリーンを通して入手した

りと、担当する職員はテキパキと業務をこなしました。

また風水害による被害の想定箇所では、低地の浸水や河川の氾濫などを最寄りの消防署が現地の被害箇所の映像を実際に対策本部に送信して、対策本部職員が現在の被害状況をリアルタイムで確認しました。

この訓練の目的は、災害時の情報を収集する訓練に始まり、気象情報をもとより、様々なネットワークを使って、各署所から報告される被害や住民の避難状況、また、けが人などの情報を正確に把握して、的確な災害対応を実践的に図ることを重点的に行いました。

訓練終了後、野田重門消防長（消防部長）は、「合併後、初めてのネットワークをフル活用しての情報収集伝達訓練であり、これからの台風シーズンに備え、市民の安全を第一に考え、いかに迅速に正確な情報を入力して、的確な消防活動が行えるよう、この訓練の反省点や問題点を再検討して、本番に備えてほしい」と講評しました。